

4面からのつづき
ある偶然から、病気を引き起こすものは、その病気を取り去る力があると見し、ホメオパシーを確立しました。会員の多くはホメオパシーの基本キツト(レメディー全36種)をもっており、様々な場面でセルフケアに役立っています。

農業学校を開設へ

自然型農業を私達と共に

「ホメオパシーの原理」リカプトのマーチンキさんを紹介しよう。次に「ゆめ」から一滴取って99滴のアルコールに入れます。それを1/100(1%)のアルコールに3週間漬けて、その後、溶液だけ取り出します。これが「リカプトのマーチンキ」(ゆめ)となります。次に「ゆめ」から一滴取って99滴のアルコールに入れます。それを1/100(1%)のアルコールに3週間漬けて、その後、溶液だけ取り出します。これが「リカプトのマーチンキ」(ゆめ)となります。次に「ゆめ」から一滴取って99滴のアルコールに入れます。それを1/100(1%)のアルコールに3週間漬けて、その後、溶液だけ取り出します。これが「リカプトのマーチンキ」(ゆめ)となります。

由井代表の話に感動

初めて聞いた人々の感想

NPO法人元氣農業開発機構主催の6次産業化に向けての「日本農業のビッグバン」とその対応策」で特別講演をした由井代表に参加者は次のような感想を述べている。それを紹介する。

◆大事な地球を大切にしたい、の言葉が嬉しかった。同感。戦前(幼年期)に頂いた野菜・果物を思い出し、懐かしかった。自然治療力があることも。理念が継承されることを願っている。元氣農業開発機構の一員として応援したい。
◆豊受自然農が土壌をよくすることに、植物が本来の力で元気に育つ。非常に感動深かった。また、自然農の根本となるホメオパシーの考え、実際の発達障害の子どもの活動におおいに納得を

「超微量の法則」を確立し、ホメオパシーを確立しました。会員の多くはホメオパシーの基本キツト(レメディー全36種)をもっており、様々な場面でセルフケアに役立っています。自然な心というものは、自然な心と関係している。同様のレメディーを自分で毒の心をもつた自分に気づき、自然体に戻ろうとするのです。水銀などの毒物を排出できない体というのも、水銀と共鳴する毒の心を抱えていることに起因することもあります。環境毒にあふれた現代は環境毒から作られたレメディーが必須です。それは私たちの心の反映でもあるからです。



講演後、質疑応答が相次いだ。古瀬NPO法人元氣農業開発機構理事長も感想を述べながら質問していた

た。そして「自然型の農業にしていく」という由井代表の考えに賛同する。今、日本の状況についても、事実を事実として、堂々と語る姿に感動した。また、これまで、これからの日本の

声が上がったり、叩いたり、動き回るなどの発達障害の児童と母親の様子を記録した虚像映像をいくつか紹介。このようになった原因の一つとして、9種類の予防接種があると私の臨床経験から確実に言えます。この9種類のワクチンを希釈振盪したレメディーを与え、ワクチンの害をとりわけば彼等はできるよくなるということができるようになりました。今、発達障害の子もたちを169名みています。そのうちの100名にアンケートをもらったのを調査したところ、91%が改善しており、この子たち全員に9種類のワクチンを希釈振盪したレメディーを与え

あることは間違いない。◆自然農業は非常に興味があります。子供の頃、野草、雑草を食べて遊んだのを思い出します。肉体改造、筋力トレーニングに取り組んだ時期に栄養素の勉強があり、ミナラルの必要性は強く認識しておりました。男性は特にホルモン生成に亜鉛、マグネシウムが重要である事、近年の豊食で、インスタントの添加剤などの蓄積で、体の基礎が弱ってきているのは事実です。また是非、講演会に参加し、学んでいきたいと思っております。◆たいへん素晴らしい講演会を聴講させていただいたことに感謝したい。これからの日本の農業を変えてくれる人物で

が日本人本来の心を取り戻すことに繋がると思っています。だからこそ豊受自然農という名前を付けたのです。私はこれから農業学校を開設する予定です。もともと農業を楽しく、また農業で生活していくように、農業はつくだけじゃなくしてそれを加工し、そして生産したものを売っていく販路をもたないといけない。売っていく販路がないからこそ農業をやらなくなったので。この農業・化学肥料を使わない自然型農業を私達と共に一緒にやってみよう。どうもありがとうございます。

◆質疑応答でのお話がとても印象的でした。参加者全員とひとつひとつのつながりを感じました。◆「微農制」の必要性を由井代表がおっしゃったのですが、おっしゃる通りです。農業に魅力を感じたい人は、自然な機会を小学校から高校の中でまったくないのも、若い人がやらない原因のひとつかと思えます。◆今日の講演会の中で、特に水耕栽培に関する由井先生の話は目からうろこでした。「人工的に光をあてるのは、騙しである」ときっぱりお話しをされた、まさにその通りであると思えます。

7月28日(土)・29日(日)
北海道 日本豊受自然農園洞爺
花摘みと自然農業体験ツアー
参加受付中

自然と共に生き
自然をいたわる
日本豊受自然農

日本豊受自然農は、第13回JPHMAコンGRESS「ホメオパシーはメタサイエンス」を応援しています

毎週、自然農の朝摘み新鮮野菜をお届け豊受自然農園セットをネット販売中
詳しくは 豊受自然農 検索 URL <http://www.toyouke.com/>

農業生産法人 日本豊受自然農株式会社 NIPPON TOYOUKE natural farming Co., Ltd.
〒419-0107 静岡県浜田方面南町平井 1741-81 TEL: 055-945-0210

第13回 日本ホメオパシー医学協会 学術大会
JPHMA コンGRESS

会場 東京・ベルサール神田
会期 二〇一二年 九月二十九日(土) 三十日(日)

大会長 由井寅子 日本ホメオパシー医学協会 JPHMA 会長・豊受自然農 代表

講演者
川島秀行 一般財団法人 日本ホメオパシー医学協会 理事長
高橋正好 独立行政法人 産業技術総合研究所 工芸博士
宮崎 望 農学博士 農学博士 農学博士 農学博士
JPHMA 認定ホメオパス 各地区代表者代表
大下伸悦 GOP・グリーンリーフ・協会 会長

主催 一般財団法人 日本ホメオパシー医学協会 日本ホメオパシー医学協会
共催 レジ・オブ・ホメオパシー・ホメオパシー (CHHO)

日本ホメオパシー医学協会
TEL: 03-5779-7411 FAX: 03-5779-7412
Japanse Homeopathic Medical Association URL: <http://jphma.org> E-mail: congress@jphma.org